

第11次小浜市交通安全計画(案)に関するパブリックコメント意見募集の結果

○意見の募集期間 令和3年11月18日～12月9日

○意見の提出件数 提出者1名(提出意見6件)

No.	意見の概要	計画への反映内容
1-1	小浜市の人口推移や免許保有者数の推移は、分母が違うことから率だけでは正確な把握にならないと思われます。人口の具体的な数字が共にあるとよいのではないのでしょうか。	人口や免許者数の総数は、折れ線グラフで表示させていただきましたので、年齢区分ごとの数値は割合(%)に留めました。このグラフの意図としては、各年の総数に占める高齢者割合が年々増加していることを示したかったため、この表示で伝わると考えてこのようなグラフとしました。また、年齢区分ごとの人口数を記入した場合、グラフが見づらくなる、視認性に問題が出てくると考えたものです。
1-2	県は65歳以上のくくりの為小浜市も比較として65歳以上でまとめられていると思いますが、65歳以上においては5歳毎など詳細な把握をするなどして、今後は免許返納等の相関も分析して対策につなげていけるとよいのではないのでしょうか。	交通安全対策において、高齢者対策は中心的な課題であり、それに関するデータはなるべく詳細に提示できるよう作成したつもりでしたが、ご指摘を受け、「高齢者」として一括りにするだけでなく、年齢別データも必要であると認識し、「運転免許人口分布の推移」、「交通事故死者における高齢者割合」、「歩行中(自転車含む)死者における高齢者割合」、「運転者が第1当事者の死亡事故における高齢者割合」について、高齢者の年齢区分ごとのデータを追加させていただきました。

No.	意見の概要	計画への反映内容
1-3	<p>今富地区27号線～西街道間においては、物理的に世帯数（人口）の増加に併せて自動車数も増加しており（一家に2台以上所有の家庭が多い）、さらにこのエリアは上流域の通過車両の道路利用もあり渋滞が著しい地域です。また交通事故（出合頭等）も頻発しており、交通安全対策には交通事故mapを作成するなどして経年的な状況の把握、俯瞰した都市計画を求めます。ヒヤリハット（ハイソリッヒ）の法則（1：29：300の法則）など1つの重大事故の前には軽度な事案（事故）が29回、事故にいたらなかった事案が300回あると言われるように、ヒヤリハットの事案を見過ごさないことが重大（死亡）事故を防ぐことにつながると思います。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の具体的な取り組みの中で参考とさせていただきます。</p>
1-4	<p>このエリアは市の都市計画での開発ではなく、ミニ開発が進んできたエリアです。小学校、保育園などがあり児童・園児数も小浜市で一番大きいエリアになっていますが、児童や園児が通学や散歩に利用するにもかかわらず歩道がありません。歩道の確保（整備）ができない場合、小浜市の交通安全計画として、歩行者の安全確保の為“グリーンベルトの設置”や“ゾーン30”、“わかりやすい路面標示”や“物理的視覚的な減速対策”など、地域からの要望を待つだけでなく行政からの指導も含めアウトリーチ的に検討する必要があると考えます。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の具体的な取り組みの中で参考とさせていただきます。</p>
1-5	<p>通勤通学時の162号線や生野尾線の交通量は著しく特に冬季は渋滞が顕著に表れ、渋滞回避による地域内の路線（通学路等）への流入から交通事故になるケースもあります。青信号の時間延長もしくは右折レーン設置の検討など、主要道路（幹線道路等）の渋滞回避策を検討いただきたい。</p>	<p>ご意見につきましては、関係機関にお伝えすると共に、今後の具体的な取り組みの中で参考とさせていただきます。</p>
1-6	<p>運転者に標識や道路標示の認識を再確認できるような指導を関係機関へ求めます。特に歩行者自転車専用道路の標識は見過ごされています。横断歩道もギリギリで止まるのは歩行時に恐怖を感じます。「ひし形で減速」など具体的な指導ができないでしょうか。</p>	<p>ご意見につきましては、関係機関にお伝えすると共に、今後の具体的な取り組みの中で参考とさせていただきます。</p>